



広報 びらとり

9
2014

No. 638
月号

一人ひとりがまちづくりの主役です 輝くびらとり未来につなごう

第45回チブサンケ (8/24)



特集	日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果	P2
	平成26年度 高齢者番付	P8
	食育だより	P9
	まちのひろば	P10
	教育委員会からのお知らせ	P12
	すこやかだより	P16
	図書館へ行こう	P17

日常生活圏域高齢者ニーズ調査結果

平取町では、平成 26 年度に「平取町高齢者保健福祉計画・第 6 期介護保険事業計画」の策定にあたり、今年 4 月から 5 月にかけて高齢者保健福祉および介護保険事業に関するアンケート調査を実施しました。

その結果（概要）について報告します。なお、今回の調査結果を基礎資料として活用し、計画策定に反映していきたいと考えています。

（調査結果書は町ホームページに掲載しています。）

調査の対象者

調査対象者は、平成 26 年 4 月 1 日現在 65 歳以上で、長期入院の方や介護施設等に入所されている方などを除く平取町に住所を有する方全員としました。

調査方法	対象者数	回答者数	回収率
合計	1,590 人	1,036 人	65.16 %
郵送による調査	1,378 人	859 人	62.34 %
民生委員、施設等への訪問調査依頼	109 人	93 人	85.32 %
保健福祉課対応	103 人	84 人	81.55 %

※平成 26 年 4 月 1 日現在高齢者（65 歳以上）数 1,715 人

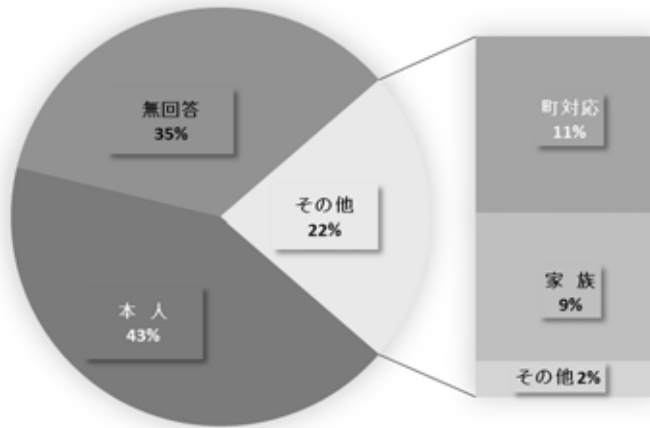
※調査対象除外者数 125 人

※調査（アンケート回収）期間 4 月 1 日～5 月 31 日

		平成20年4月末	平成23年4月末	平成26年4月末	平成37年推計
全体人口	男性	2,856 人	2,697 人	2,703 人	2,104 人
	女性	3,028 人	2,907 人	2,834 人	2,259 人
	全体	5,884 人	5,604 人	5,537 人	4,363 人
高齢者人口	男性	694 人	707 人	730 人	678 人
	女性	931 人	961 人	986 人	942 人
	全体	1,625 人	1,668 人	1,716 人	1,620 人
高齢化率		27.62 %	29.76 %	30.99 %	37.13 %
認定者数	要支援	69 人	71 人	94 人	125 人
	要介護	179 人	191 人	191 人	238 人
	全体	248 人	262 人	285 人	364 人
介護認定出現率		15.26 %	15.71 %	16.61 %	22.45 %

※平成 37 年推計は国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成 25（2013）年 3 月推計）」による

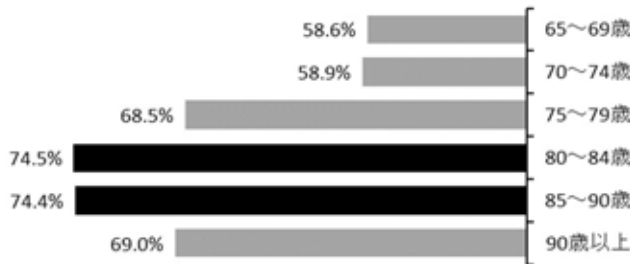
【回答者の基本属性】



● 記入者

対象者全体の43%が調査対象者本人の記載で、約9%が家族によるものでした。

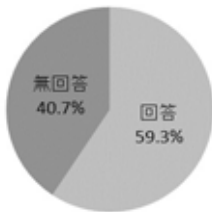
残り約2%はその他の人による記載、または記載者未記入等です。



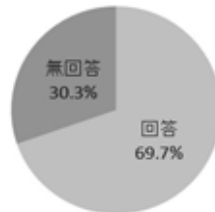
● 年齢

80～84歳、85～90歳の方が74%と回答が一番多くなっています。65～69歳、70～74歳では、58%と他の年齢層から見ると回答率は若干少ない結果となっています。

男性



女性



● 性別

男女ともに50%以上の方が回答されており、若干女性の方が回答が多い結果となりました。

【家族や生活状況】



● 家族構成は？

全体の3割が「一人暮らし」、「家族と同居されている」方は7割強でそのうちの約6割が配偶者との2人暮らしとなっています。

地区	回答者	一人暮らし	割合	割合
川向	15	4	26.7	73.3
紫雲古津	80	11	13.8	86.3
去場	35	8	22.9	77.1
荷菜	144	36	25.0	75.0
本町	292	106	36.3	63.7
小平	24	2	8.3	91.7
二風谷	51	19	37.3	62.7
荷負	39	17	43.6	56.4
貫気別	88	25	28.4	71.6
旭	15	5	33.3	66.7
芽生	7	3	42.9	57.1
長知内	18	7	38.9	61.1
幌毛志	11	3	27.3	72.7
振内町	186	67	36.0	64.0
岩知志	28	11	39.3	60.7
豊糠	3	1	33.3	66.7

● 地区別

地区別では紫雲古津、小平以外の14地区では回答者の2～4割が一人暮らしという結果となり、地区によって差がみられる結果となりました。

現在収入のある仕事をされている方は2割強で、現在の暮らしの状況に経済的な苦しさを感じている人は、6割弱を占めています。

収入のある仕事

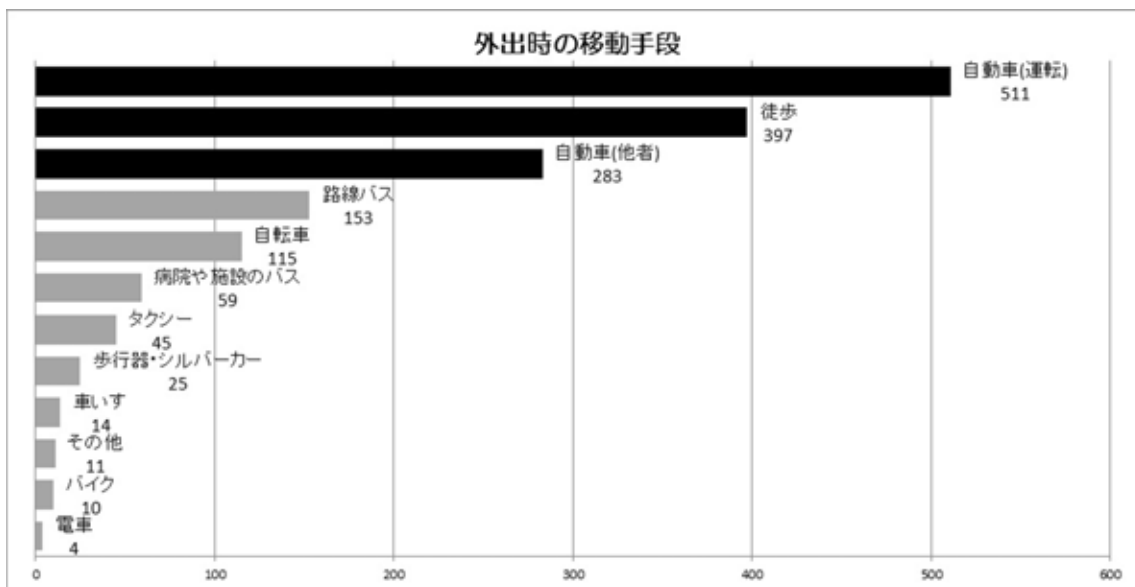


現在の暮らしの経済的状況



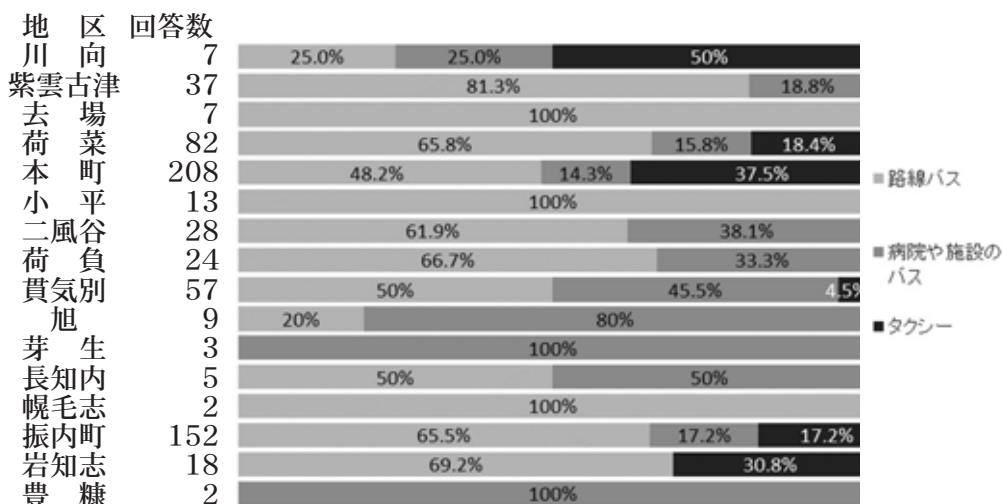
【運動・閉じこもり】

外出する際の移動手段は、「自動車（運転・他者）」、「徒歩」が突出して多く、ほとんどの方が3つのどれかを利用しており、次に路線バスも多くの方利用されているようです。

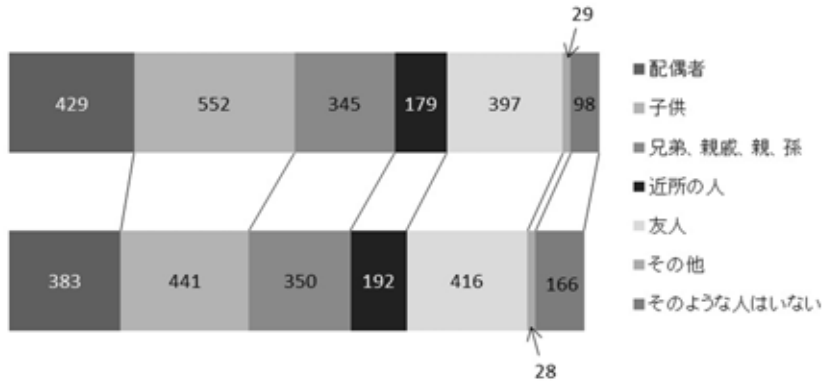


地区別 外出時の移動手段 【公共交通機関の利用】

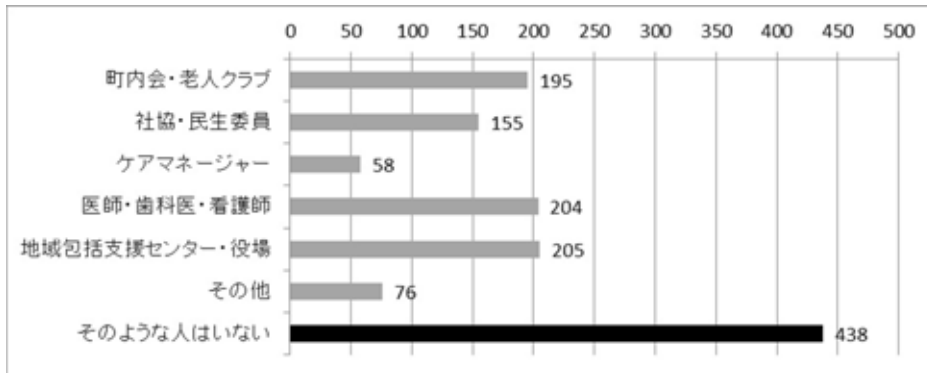
地区別でも自動車での移動が最も多い結果となっていますが、公共交通機関の利用のみをみると、多くの地区で「路線バス」の利用があり、去場、小平、幌毛志では、利用者の100%。「病院や施設のバス」は芽生、豊糠で100%。「タクシー」は、川向、荷菜、本町、貫気別、振内、岩知志で利用があり、川向では50%となっています。



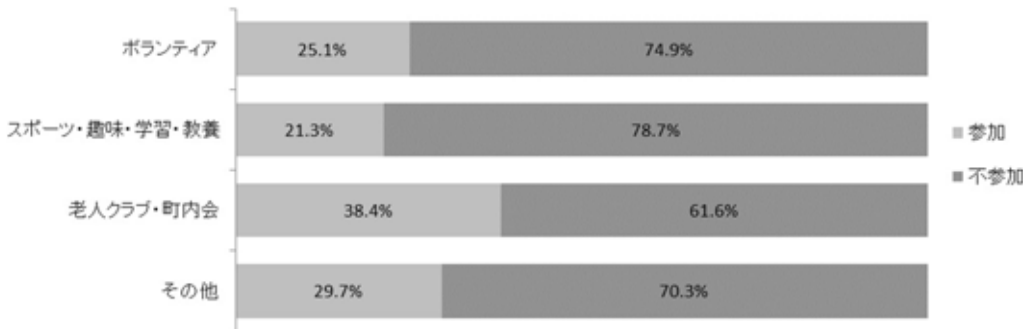
【社会参加】



困った事柄などを聞いてもらおう・聞く相手としては、「配偶者」や「子供」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」など身近な家族や友人が上位を占めています。
 そのうち、子供に相談する方と比べて、子供から相談されている方は少ないという結果となりました。

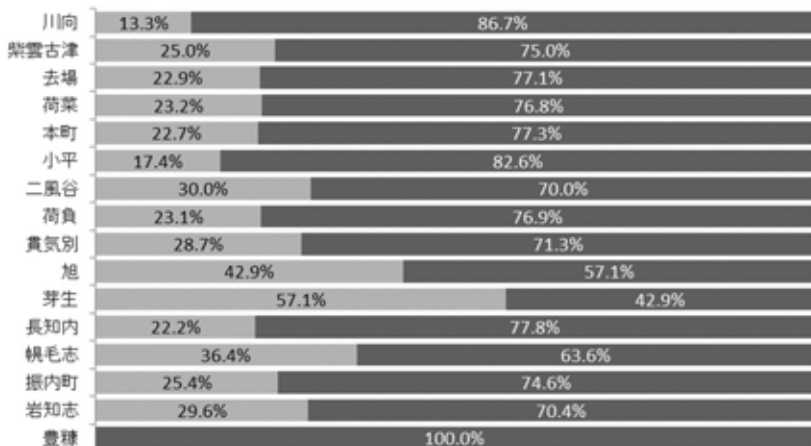
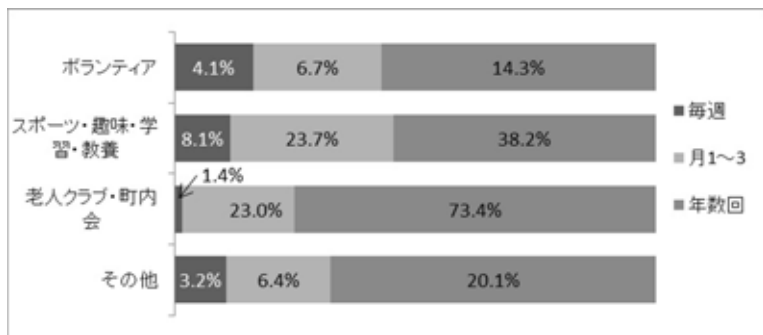


家族や友人以外で相談する相手としては、回答者全体の半数近くの人が「そのような人はいない」と回答しています。次いで、「地域包括支援センター・役場」、「医師・歯科医・看護師」となっています。



地域活動に参加していない人が多くの項目で約7割以上と多い結果となっていますが、「老人クラブ・町内会活動」では不参加は6割にとどまり、半数近くの方が参加されています。

参加の頻度は？



※地区別でのボランティアの参加

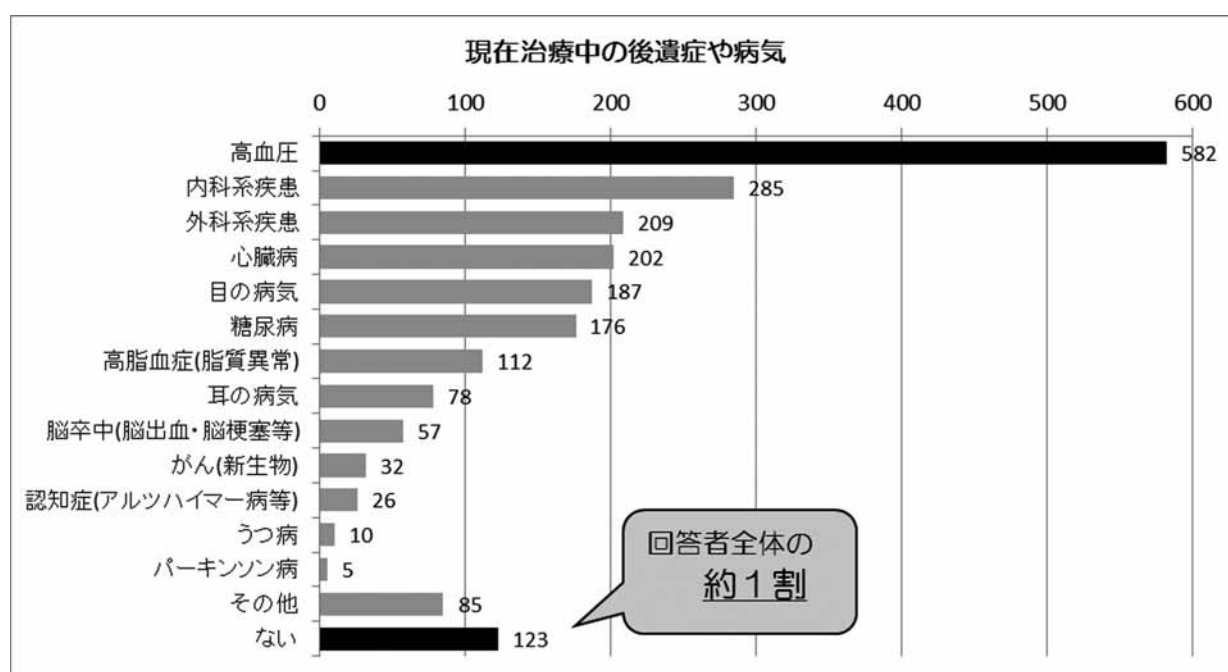
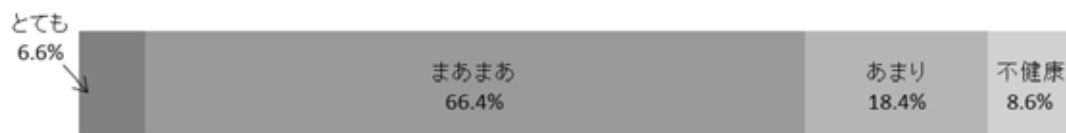
多くの地区では7割以上がボランティアに不参加となっており、芽生、旭では4割以上が参加していると回答があり、地区別で差がみられました。

【健康】

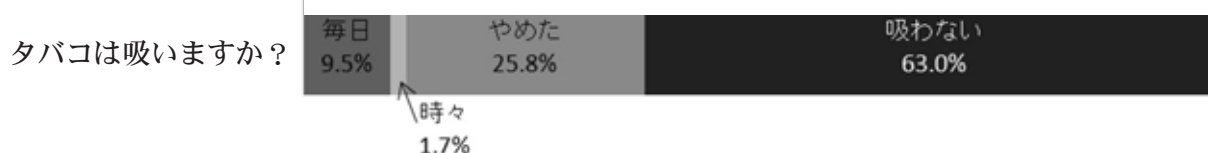
自分の健康状態が「良好」だと感じている方は約7割を占めるものの、「現在治療中の後遺症や病気」がないと回答された方は全体の約1割程度と少なく、「通院している」、「薬を飲んでいる」も約9割と多くの方が何らかの治療をされているということがわかりました。

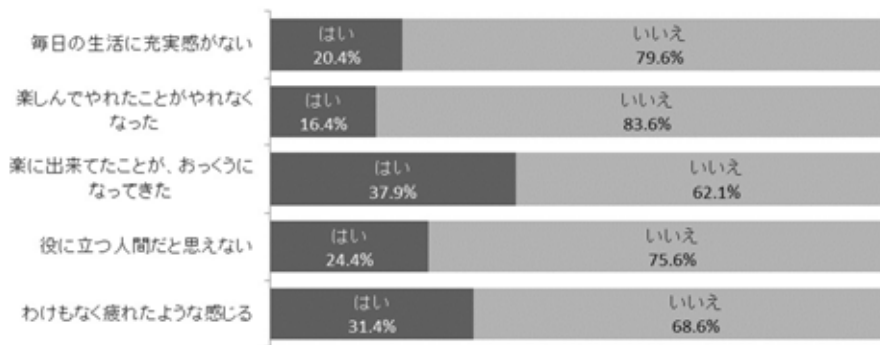
また薬については、「5種類以上ある」方が約4割と多い結果となりました。治療中の病気としては、高血圧が圧倒的に多く、内科系（肝臓や腎臓など）、外科系（骨折など）や心臓病が多くなっています。

自身の健康状態について



飲酒習慣は4割、喫煙習慣は1割弱となっており、半数以上が飲酒・喫煙習慣はないという結果となりました。また、飲酒習慣がある方は、毎日時々もほぼ同じ割合となっています。



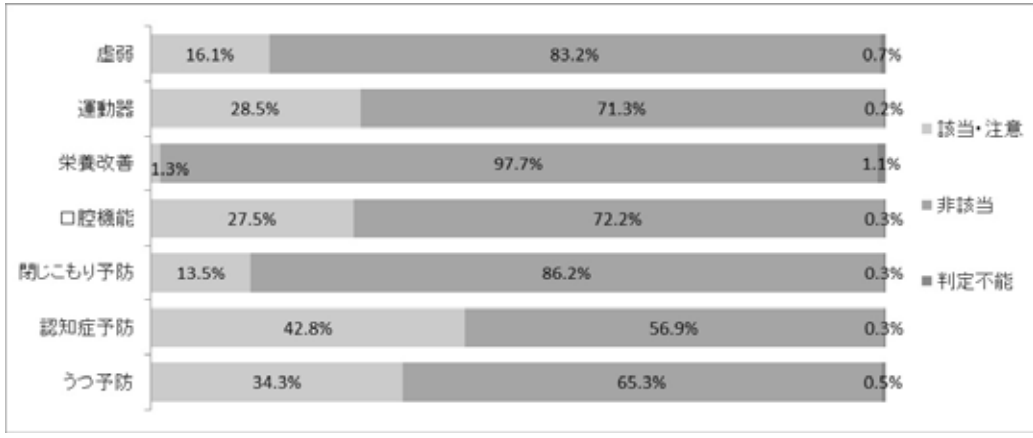


ここ2週間の状況に関しては、多くの方が各項目の状態を感じることはなく、元気に過ごされているという結果となりました。「楽にできていたことが今ではあっけうに感じられる」、「わけもなく疲れたような感じがする」と回答した人が3割以上と他の項目と比較して多くなっています。

【二次予防対象高齢者】

二次予防対象高齢者とは、厚生労働省の「地域支援事業実施要項」に基づく基本チェックリスト（日常生活動作や健康状態、認知機能などチェック項目）を通じて、要支援・要介護になるおそれがあると判断された方を言います。

今回の調査の回答を分析した結果、455人が二次予防対象高齢者に該当となり、そのうち現在要介護認定をうけている方が118人含まれていました。介護認定者以外の該当の方は早期に対応が必要という方です。 ※総回答数 1,036人、該当 455人、非該当 577人、判定不能 4人



まとめ

今回の調査では、多くの方が介護や介助の必要はないという回答をされており、何かしらの病気をもちながらも元気に過ごされていることがうかがえました。その一方で全体の4割が二次予防対象高齢者に該当しており、内訳では「認知症予防の必要あり」が最も多くなっています。さらに、全体の4割に「転倒リスクあり」の結果から、介護を受けないために注意をしていくことが必要という結果となりました。

今回の調査結果は、65歳以上の方々の日常生活の状態やニーズを把握し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるための支援・サービス提供体制を検討する参考資料とさせていただきます。

いつまでもお元気で長生きしてください

東 西

寿

平成二十六年

長寿者番付表

小結 加賀屋ミサヲ	関脇 橋本スイ	大関 崎廣ミサヲ	横綱 渡邊とめ
99歳	100歳	101歳	102歳
芽生	荷葉	本町	振内町

筆頭 及川タツミ	小結 池田正明	関脇 賀集キニエ	大関 油谷みき
98歳	99歳	100歳	101歳
振内町	山向	紫雲古津	本町

前頭四		前頭三			前頭二			
池本操	坂東重男	松永ミツエ	葛野ヨシ	菅原喜美子	沖野コト	山際イク	高橋イト	伊藤福治郎
95歳	95歳	96歳	96歳	96歳	97歳	97歳	97歳	97歳
本町	山向	旭	本町	荷葉	旭	本町	豊糠	幌毛志

前頭四		前頭三			前頭二		
三好一	貝澤ハル子	野口忠義	中田こはる	山田ハル	窪田はる	水正壽々美	宮北富貴
95歳	95歳	95歳	96歳	96歳	96歳	97歳	97歳
振内町	荷負	紫雲古津	振内町	本町	本町	振内町	本町

前頭六						前頭五					
馬場セツ	野村さかゑ	松澤アエ	米田文吉	森シゲ	荒木冬治	廣瀬セツ	高瀬ミヨ子	貝澤じづ	奥村フジ	小林善直	中西ミツ
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳	94歳	94歳
荷葉	幌毛志	振内町	荷葉	振内町	貫気別	旭	芽生	二風谷	振内町	本町	振内町

前頭六						前頭五				
廣瀬賢一	永島花枝	佐藤キク子	日山きよ	佐藤トメノ	石浦高子	本間敏雄	水澤リツ	川端千代子	齋藤ミツ	福澤ハスエ
93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	93歳	94歳	94歳	94歳	94歳
去場	本町	本町	長知内	貫気別	荷葉	荷葉	本町	岩知志	本町	振内町

※ 9月1日現在に平取町に住む 85歳以上の方の人数
男性 79人 女性 200人 計 279人

平成 26年 9月 1日現在 (敬称略)

よい食一生 ● 食育だより

保健福祉課 保健推進係

6月 は 『食育月間』 ・ 毎月 19日 は 『食育の日』

★みんなで作ってみよう！！★

じゃがいもを使ったおやつ『ポテトドーナツ』



【材料】 (2～3人分)

じゃがいも 250g、ブルーベリージャム 適宜
ホットケーキミックス 85g、片栗粉 25g
牛乳 大さじ2、卵 1個
サラダ油 大さじ1、プロセスチーズ 30g
揚げ油 適宜、グラニュー糖 適宜

【作り方】

- ①じゃがいもは皮つきのまま茹でて、皮を剥いて熱いうちに潰す。
- ②ホットケーキミックスと片栗粉は合わせてふるっておく。チーズは10等分しておく。
- ③卵は溶き、サラダ油と合わせ、①に加えて混ぜる。ふるった②を加えさらに混ぜ、牛乳を加えて固さを調整しながらひとつにまとめる。
- ④生地を10等分し、丸く平らにし、ジャムとチーズを詰める。
- ⑤揚げ油を160度に熱し、④を入れ箸で転がしながら揚げる。温度を上げ、カラッと仕上げ、グラニュー糖をまぶす。

★平取町の食育推進活動情報★

子どもクッキング教室風景

町内の小学生を対象としたクッキング教室が、毎年夏・冬休みの時期、年2回開催されています。

今年の夏休み子どもクッキング教室は、8月8日(金)に開催され、22人の小学生とその保護者の方が集まり、『びらとりの食材を使ったドライカレー』をみんなで調理・試食しました。

試食後は、地場産品に関するクイズや栄養の話をし、楽しく地場産品についての知識を深めました。

冬休み子どもクッキング教室は、来年1月頃を予定しています。



『びらとりを食べよう!! 料理講習会』 & 『食育セミナー』のお知らせ

【料理講習会】10月9日(木)

今年は、去場の『DINING CAFE 垂井 Luce (ルーチェ)』オーナーシェフ 山岸垂井 (やまぎし あい) 氏を講師としてお招きし、調理・試食を行います。山岸シェフは、生まれ育った去場の地にこだわり、地元食材の魅力を最大限に引き出したおいしい料理をいろいろな方に食べてもらいたいとしてお店をオープンしました。

今回の料理講習では、お店の味を家庭で再現してもらえようような料理講習を行いたいと考えています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

【食育セミナー】10月26日(日)

今年は、荒川義人先生と生活協同組合コープさっぽろマーケティング部食育推進グループの星野浩美氏をお招きし、基調講演・対談を行う予定です。

また、子どもたちも楽しめるような食育の参加体験コーナーや健康チェックコーナーなどのブースを設け、いろいろな形で『食』について感じてもらえるような内容を考えています。

びらとり まちのひろば

平取高校・えりも高校 合同高校生カフェ (8/10)

えりも町の襟裳岬風の館において、平取高校とえりも高校の「合同高校生カフェ」が開かれました。

このカフェを運営したのが、平取高校の「トマトクラブ」と、えりも高校の「風極プロジェクトサークル」の生徒たち。びらとり黒豚やトマト、えりも町のツブなどを使い、高校生が考案した商品を観光客や地元の人に提供しました。



義経神社例大祭 (8/14 ~ 15)

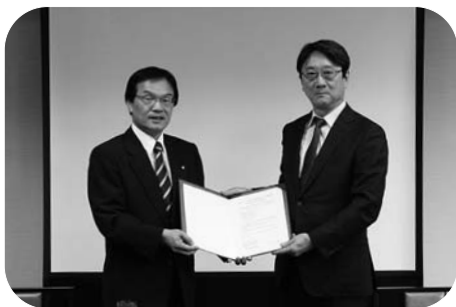
今年も義経神社例大祭が行われ、恒例のみこし渡御では、神社のみこし1基のほか、本町の各町内会の子どもみこしも参加して行われました。

今年の源義経は小林岳人さん(平取中2年)が、静御前は木村有稀さん(平取中2年)が務め、華やかな衣装を身にまとい、みこしとともに本町の市街地を練り歩きました。

第28回ふれあい広場 (8/23)

今年で28回目を数える「ふれあい広場」が、ふれあいセンターびらとりで行われました。

会場内では民俗舞踊やヨサコイ演舞、障がいを抱えた方たちの演奏などが披露され、屋外には、障害者支援施設すずらんの物販や町内ボランティア団体による模擬店が行われ、多くの人が集まりました。



北海道大学との連携協定調印式 (8/26)

北海道大学大学院農学研究院・北海道大学大学院農学院・北海道大学農学部との連携協定調印式が、びらとり温泉ゆからで行われ、川上町長と丸谷知己北海道大学農学院長が協定書にサインしました。

今後は基幹産業である農林業分野を中心に、大学の研究成果や知識を活用した地域振興を目指していきます。

振内町民ラジオ体操100日大会 (8/31)

振内町民ラジオ体操100日大会は、100日目の8月31日に無事全日程を終了しました。

5月24日から8月31日までの100日間、役場振内支所前で毎日行われているこの事業は、今年で30周年を迎えました。





戦没者追悼式 (9/5)

先の大戦において亡くなられた方々を追悼し平和を祈念するため、戦没者追悼式が本町の平和塔で行われました。この日は、時折強い雨が降るあいにくの天気でした。参列者は戦没者の御霊に対し、白い菊の花とともに哀悼の誠を捧げ、平和への誓いを新たにしました。

雅楽鑑賞会 inびらとり (9/7)

日高雅楽会主催による「雅楽鑑賞会 inびらとり」が中央公民館で行われ、約50人ほどの観客は、笙（しょう）や箏篋（ひちりき）といった普段聴くことのない雅楽の音色を楽しんでいました。

◎このイベントは「平取町町民税1%まちづくり事業」を活用し行われました。



義経神社へリトグラフ寄贈

義経神社に、苫小牧在住の富野耕三さんから藤田嗣治画伯のリトグラフが寄贈されました。寄贈された作品は、「地を駆ける白馬」など十数点で、以前敷地内で飼われていた白馬を見に再訪された縁がきっかけとなり寄贈されたもので、宮司の三上さんは「多くの方に見て頂けるよう当分の間、資料館内に展示したい」と話していました。



北海道総合畜産共進会 (9/7)

9月7日、音更町十勝農協連家畜共進会場で開催された北海道総合畜産共進会において、第8部門黒毛和種（父系群）で楠木一史さんの出品牛「ゆりあん号」、「しげかねやす号」、賀集昭知さんの出品牛「ゆりかつじ号」の3頭1群が1等賞1席、群の3部門中最優秀賞となり、さらには最高位に輝きました。

また、第3部門黒毛和種未経産（生後15ヶ月以上18ヶ月未満）では、佐々木幸徳さんの出品牛「みつしげ号」が1等賞1席、未経産の5部門中最優秀賞となり、準最高位となりました。

その他にも、第1部門黒毛和種未経産で佐藤貢さんの出品牛「かつはな号」、第4部門黒毛和種未経産では笠山一夫さんの出品牛「ただかめ号」が1等賞1席となり、10部門中4部門で全道1位と見事な成績を収めました。

今回の受賞は、生産者や和牛改良組合、関係機関の努力の賜物であり、さらなる躍進が期待されます。



北海道平取高等学校への振興支援対策をまとめる — 振興支援対策要綱を制定 —

平取町教育委員会は、8月25日に北海道平取高等学校振興支援対策要綱を公布しました。

この要綱は、平取高校の特色ある教育活動を支援するとともに、入学および在学する生徒の保護者負担の軽減に努めることにより、高等学校教育の一層の充実を図ることを目的として定めたものであり、平成27年度（一部は平成28年度）から施行されます。

☆具体的な振興支援事業については、次のとおりとなっています。

- ①遠距離通学生徒通学費補助事業（継続事業で現行どおり）
公共交通機関の乗車区間が片道6km以上の生徒を対象として定期券購入費から1万円を控除した額を補助
- ②各種資格検定等料補助事業（継続事業）
各種の資格検定等に要する経費について補助
- ③制服等購入費補助事業（新規事業）
新入学生徒を対象として制服購入費について全額補助
- ④部活動費補助事業（新規事業）
要項で定める部活動経費について補助
- ⑤見学旅行参加費補助事業（新規事業：平成28年度から適用）
見学旅行に参加した生徒を対象として旅行経費の一部を補助
- ⑥平取高校教育振興会補助事業（継続事業）
平取高校教育振興会の活動について、毎年次、予算で定める額を補助
- ⑦学力向上サポート事業（新規事業）
外国語指導助手（ALT）派遣および長期休業中等における学習補充講師派遣の実施
- ⑧新入学祝品贈呈事業（新規事業）
新入学生徒への祝品として、町教委より贈呈（電子辞書を予定）
- ⑨町有バス利用貸出事業（継続事業）
平取高校の行事等について、町有バスの利用貸出を拡大

これらの振興支援対策については、昨年7月に平取高校の振興に関し検討する新たな組織として「平取高等学校振興支援協議会」が設立され、2つの専門委員会（生徒確保委員会・支援対策委員会）で多くの協議を重ね、併せて平取高校の要望を加え、取りまとめたもので、①学校の魅力向上 ②進学・就職の充実 ③未来を担う人材育成 ④平取町の地域振興 ⑤平取高校と関係団体等の連携強化の5つの基本方針を掲げる中で、その具現化に向けた取り組みとして協議会で決定されました。

6月26日、青山和裕協議会会長より町長に対し検討内容の報告があり、その後、町および町議会総務文教常任委員会との協議を踏まえ、この振興支援対策要綱を制定したところであります。



8月22日 カタリバ（大学生と語ろう）の様子



8月10日 高校生カフェ（えりも高校と合同出店）

緑豊かなキャンプ場で体験学習 ～わくわく自然体験スクール～

8月5日～7日、町内の小学5年生を対象とした自然体験学習を2泊3日の日程で行い、平取小学校と振内小学校から11人（男子7人、女子4人）が参加しました。



岩知志にて記念撮影

ニセウエコランドにテントを設営する予定でしたが、あいにくの雨により1泊目は岩知志ふれあい館、2泊目はバンガローに変更して宿泊しました。

なんとか天気も持ち直し、アイヌ文化の遊び体験、ホタル鑑賞、ネイチャーゲームなど、自然体験を楽しむことができました。他校の児童とのさまざまな活動を通して交流することができ、貴重な夏休みのひと時を過ごしました。



アイヌ文化の遊び体験

迫力のある影絵人形劇と生の落語を体験 ～子ども芸術劇場～

教育委員会主催の子ども芸術劇場を、小学校の部は9月8日、中学校の部は8月25日にそれぞれ開催しました。

小学生の部では「写し絵と影絵人形劇」を行い、冒頭に出てきたコミカルな動きをするダルマに児童達は大笑いし、しっかりと心を掴まれると、神秘的な雰囲気を醸し出していた影絵と目が離せないストーリー展開の劇に引き込まれ、最後まで真剣に鑑賞していました。



中学生の部は「学校寄席」を行い、真打の古今亭志ん丸さんから落語を、林家楽一さんから色物として紙切りを披露していただきました。はじめて落語を観た生徒も抵抗なくその世界に入ることができ、途中、生徒を舞台に呼んで落語体験をする場面では、扇子を使って、蕎麦や焼き芋を食べる演技を教えてもらい、多少の照れを見せながらも、大胆に披露し会場を沸かせていました。林家楽一さんによる紙切り芸では、生徒からのリクエストに数分たらずで形を完成させると、会場からは驚きの歓声が上がっていました。

文化サークル紹介

舞踊同好会 トマト

踊りの好きなもの同士で、使わなくなった着物をリメイクしながら、施設への慰問をさせていただき、楽しんでいます。

活動日 毎週金曜日 (18:00～20:00)

活動場所 振内町民センター 多目的ホール

《会員募集中》 連絡先 下川マシヨ (☎ 3-3026)

創立年	平成 25 年
代表者	下川 マシヨ
会員数	6 人



教育委員会からのお知らせ

バランスとって大きくジャンプ！ ～親子トランポリン体験教室～



まずは感触を覚える「鬼ごっこ」
(中央は小林哲也先生)

子どもたちは、最初、足をとられながら走ったり跳んだりしていましたが、徐々に慣れて長い滞空時間のジャンプをすることができ、空中の一番高いところで拍手したり、体全体を使った空中ジャンケンなど、トランポリンならではの動きを体験しました。特に縄跳びは、いつもよりも高く、数多く回せることができ、一番人気でした。

この教室は、10月26日㊦大人の部、11月9日㊦子どもの部を開催する予定です。

7月13日、平取町民体育館で「親子トランポリン体験教室」を開催し、大人12人と子ども13人の計25人の親子が、それぞれ年齢別に午前と午後の部に分かれて参加しました。

講師には、平取高等学校教諭で北海道トランポリン協会に所属する日本体操協会公認普及指導員の小林哲也先生を迎え、参加者のレベルに合わせてながら専門的な動きを教わりました。



いつもより高い「縄跳び」

樽前山から見下ろす雄大な景色に感動 ～小中学生登山～

7月31日、小学4～6年生と中学生を対象とした「小中学生登山」を樽前山（標高1,041m）で行い、30人の参加者と6人の引率者でゴールの西山を目指しました。

遠くまで見晴らせる天気で、登るにつれ小さくなるスタート地点の駐車場や山越しの支笏湖、溶岩ドームなど、新しい景色が見え始める度に歓声が上がリ、参加者の疲れを癒し、元気を取り戻していました。



強い風に吹かれながらも何とか記念撮影

しかし、山頂が近づくにつれて強くなってきた横風は、神社での昼食後、さらに勢いを増したため、無理をせずそのまま下山しました。

帰りには、苦小牧の温泉に入り、登山での汗を流しました。

博物館講座「マオリがどうやって言葉を取り戻したのか」

テ・アタアランギとマオリ語復興

テ・アタアランギは、アオテアロア（ニュージーランド）の先住民マオリの言語復興に大きな役割を果たした価値観の教授法です。その専門家で、テ・アタアランギ協会の理事でもあるルアケレ・ホンドさんに、テ・アタアランギとは何か、マオリ語復興をいかに成し遂げたのか、アイヌ語学習への応用の可能性などについて語って頂きました。（8月26日：物館ポロチセにて）



マオリ語の衰退と復興運動の歴史的な経緯

1936年以降、多くのマオリが地方のコミュニティ（共同体）から都市部へ移動し、戦時中の工場や街で仕事をするようになりました。都市の中で、コミュニティをつくらずバラバラに居住した人たちは、元来コミュニティの中でマオリ語を学んでいたため、その年代の話者が激減し、消滅の危機に直面しました。

そうしたことから、マオリ語復興への取り組みが始まり、1970年代以降、マオリ語を学べる学校が増えたこともあり、現在、約50万人（2013年調査）のマオリの内、11%が日常会話程度のマオリ語を話すことができるまでになりました。

しかし、約4割の人たちは、マオリ語を理解することができてもコミュニケーションは難しいという状況にあることから、ニュージーランド政府は、毎年2億8千万ドル（約200億円）を投入し、マオリ語の教育やラジオ・テレビ放送など、マオリ語復興にかかるプロジェクトに取り組んでいます。

テ・アタアランギの方法論と今日的な状況

テ・アタアランギとは、マオリの世界観、考え方、信仰などの価値観を学ぶための教授法で、言語の学習はその一部であります。例えば地理を教えるときも、マオリの世界観（西洋の地図からみて180度回転させる考え方）に従って、北島はエイ（魚）・南島は舟、さらに舟は上・魚は下というように教えます。単に言語習得だけのアプローチではなく、民族の価値観も体得させます。

テ・アタアランギは、地域のコミュニティ復興を基本理念にしており、常にマオリ語を話すことを義務づけています。そうすることで民族としての自信を取り戻させ、社会的な地位も高めました。

約30年活動してきて、テ・アタアランギは現在どのような状態にあるか

ルアケレさんの世代は1980年代前半まで、テ・アタアランギをネイティブスピーカーから学んできました。そうした方々は、年金をもらいながらボランティアで活動していましたが、その次の世代は働き盛りも多かったことから、大学教育にも積極的に参入し、100人位がフルタイムで大学に雇用されるようにもなりました。

しかし、大学教育への参入は大学からの報酬や教師資格を得るため、といった別の動機を生み出し、次第に当初の基本理念が失われる結果となりました。

そのため、テ・アタアランギは2000年代以降、大学との関係を断ち切り、コミュニティの中で教えるという基本理念に立ち返り、子どもたちとその親に対する教授に重点を置き、現在では国内約300家族を対象に、日常生活・家庭内でマオリ語を話すためのサポートを行っています。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Infomation

予防接種 について

定期接種

予防接種法で定められた予防接種。一定の年齢になったら受けることが望ましいとされ、保護者には、努力義務が課せられている予防接種です。予防接種の対象年齢の期間が決められており、その期間内であれば、平取町では、無料で接種することができます。

種類

- ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ：4種混合ワクチン
- 麻疹・風疹：MRワクチン
- 結核：BCG
- 小児肺炎球菌
- インフルエンザ菌b型（ヒブワクチン） など

任意接種

任意接種とは、保護者が接種するかどうかを選択できる予防接種です。希望する場合は、各自、病院へ行き、接種します。

種類

- おたふくかぜ
- B型肝炎 など

定期予防接種が増えます！

予防接種法の改正により、10月から定期予防接種が増えます。

■水痘（水ぼうそう）

原因
水痘・带状疱疹ウイルスによつて発症します。

感染経路
空気感染・飛沫感染・接触感染により広がるため、非常に感染力が強いです。

潜伏期間
感染から2週間程度といわれています。

症状
発熱

だるさや食欲低下なども現れます
←（1日～2日）
発疹・水ぶくれ
はじめは、おなかや顔に赤い発疹が現れ、その後発疹がふくらんで水ぶくれになり体中に広がります。

（かゆみが一番強い）
←（7～10日後）
かさぶた
かさぶたが、はがれ落ちるまで、約3週間かかります。

感染期間

発疹がみられる1～2日前から、水ぶくれが完全にかさぶたになるまで。
※すべての水ぶくれが、かさぶたになるまで（7～10日間）は通園・通学は禁止です。

予防接種対象者

1歳～3歳未満の幼児
接種回数
2回（2回目の接種は3歳になるまでにしなければなりません）

※26年度に限り、3歳～5歳未満の幼児も定期接種の対象とし、この場合は1回の接種とします。

※水ぼうそうにかかった幼児は、すでに免疫を持っていると考えられるため、基本的には定期接種の対象外となります。

※すでに任意接種として、水痘ワクチンを接種した幼児は、定期接種を受けたものとみなして、それ以降の定期接種を受けていただくこととなります。



■肺炎球菌ワクチン

原因
肺炎球菌という菌によつて起こる感染症です。
効果
肺炎球菌が原因となる肺炎などの感染症を予防します。

※すべての肺炎を予防するものではありません。

予防接種対象者

- ①平成26年度に、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上の方
 - ②60歳～65歳未満の方で、心臓・じん臓・呼吸器・免疫機能に障害のある方
- （上記の障害による障害者手帳1級をお持ちの方）

※来年度以降は、各年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方が対象となります。



【お問合せ】

保健福祉課 保健推進係
（ふれあいセンター）
☎ 4・6112

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『荒神』／宮部みゆき
 『後妻業』／黒川博行
 『壁と孔雀』／小路幸也
 『それは秘密の』／乃南アサ
 『ねじまき片想い』／柚木麻子
 『かたづの!』／中島京子
 『ラストター』／さだまさし
 『仙丹の契り(僕僕先生)』／仁木英之
 『神の子』(上・下)／薬丸岳
 『いそぶえ』／谷村志穂
 『本物には愛が。みんな一緒』
 ／黒柳徹子
 『孤独の力』／五木寛之
 『降り積もる光の粒』／角田光代



【家庭・生活・趣味】

『シニアの簡単おいしい1人分
 ごはん』／岩崎啓子
 『わたしのとっておきサンドイッチ』
 ／重信初江ほか
 『おゆうぎ会のかわいい
 コスチューム』／ブティック社
 『こどものどうぶつニット』
 ／文化局出版



【社会・経済・その他】

『大人でも答えられない!宇宙の
 しつもん』／荒船良孝
 『きっぶのルールハンドブック』
 ／土屋武之
 『親子で学ぶ英語図鑑』
 ／キャロル・ヴォーダマン



新しいCD入りました!

【邦楽】
 「Mr.S」 SMAP 「HEART」 TOKIO
 「ATTACK25」 DREAMS COME TRUE
 「Tales of Purefly」 MAN WITH A MISSION
 「Heartful Song Covers」 May.J
 「今、そこにある明滅と群生」 高橋優
 【その他】
 「PANDORA」 押尾コータロー
 「J-POPピアノメロディ」
 「いないいないばあっ!ひよこあんど♪」
 「みつけた!パンパカパーン」

ハロウィン特集

10月1日(水)～31日(金)

ハロウィンに関する絵本やよみもの、行事の由来や料理などさまざまなジャンルの本を集めて展示します。

貸し出しもできますので、ぜひご来館ください。



図書ワゴン(移動図書館車)運行日程【10月】

2日(木) 【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

3日(金) 【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

10月の休館日

6・13・14・20・27日

11月の休館日

3・4・10・17・23・24日





■ホッカイドウ競馬 平取町長杯平取義経特別 (9/3 門別競馬場)

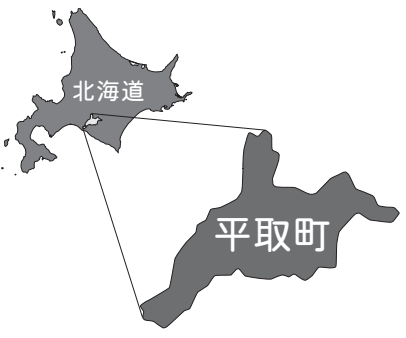
- 役場関係電話番号
- 平取町役場 (本庁)
 - 総務課(代表) ☎ 2-2221
 - まちづくり課 ☎ 2-2222
 - 産業課 ☎ 2-2223
 - 税務課 ☎ 2-2224
 - 出納室 ☎ 2-2225
 - 建設水道課 ☎ 2-2226
 - 議会事務局 ☎ 2-2227
 - アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
 - 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
 - ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
 - 保健福祉課 ☎ 4-6112
 - 町民課 ☎ 4-6113
 - 児童館 ☎ 2-3026
 - 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
 - 地域包括支援センター「ほほえみ」 ☎ 2-3700
 - 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
 - 図書館 ☎ 4-6666
 - 平取町教育委員会
 - 中央公民館 ☎ 2-2619
 - 町民体育館 ☎ 2-2749
 - 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
 - 沙流川歴史館 ☎ 2-4085
 - 役場振内支所 ☎ 3-3211
 - 役場貢気別支所 ☎ 5-5204
 - 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
 - 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
 - 日高西部防犯組合平取支署 ☎ 2-2361

すずらん短歌会詠草

荒縄が肩に 幼き時の秋の 思い出	憲法を改正 するとは恐ろ しい 今の平和を 願う我には	北国に夏は 来たれど水枯 れて 蛙の合唱も 声がかすれる	朝夕の涼し き風に七月も 夏と思えど トンボとぶなり	目の前の畑 のいもはあわ れなり 鹿に食われ て花も咲かぬ よ
石川原 多満代	中原 千鶴子	高橋 洋子	相田 のぶ子	中沢 三二子



QRコード



まちの人口と世帯数	
人口	5,512人 (6)
男	2,693人 (1)
女	2,819人 (5)
世帯数	2,666世帯 (2)

()内は前月比 8月末現在

交通事故発生状況	
発生件数	3件 (2)
死者数	1人 (1)
傷者数	2人 (1)

()内は前年比 8月末現在
死亡事故ゼロ日数 215日

発行/平取町総務課広報広聴係 ☎ 055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地
ホームページ <http://www.town.biratoriki.hokkaido.jp>
Eメール info@town.biratoriki.hokkaido.jp
☎ (01457)2-2221 FAX (01457)2-2277